

# 臼杵市バイオマス産業都市構想の概要

大分県臼杵市、人口 約4.1万人、面積 約2.9万ha

## 構想の概要

「ほんまもん農産物」を中心とした有機農業、水源涵養機能を高めるための持続的な林業、臼杵湾で獲れる「海のほんまもん」漁業を軸に、そこに循環する「水資源」を豊かにするために、家庭・製造業と連携した形で地域内での循環型社会の構築を目指す

## 1. 将来像

- ① 地域内の未利用間伐材等を原料とした木質燃料製造施設、小型木質バイオマス発電施設を新設、食品残渣を原料としたバイオガス発電施設の新設を検討。
- ② 熱エネルギーとしての木質資源活用を促進
- ③ 廃油をBDFに精製し活用
- ④ 発電した電力を地域内に供給する新電力(地域PPS)を設立し、電気の地産地消の構築を目指す

## 2. 事業化プロジェクト

- ① 木材カスケードセンター
  - ・原木を集荷し品質に適した出荷先、利用先に振り分け、価値を最大化
- ② 臼杵エネルギーパーク
  - ・木質ペレットでガス化発電
  - ・焼酎廃液をメタン発酵し発電
- ③ 新電力(地域PPS)事業
  - ・発電した電気を地域内に販売する仕組みを構築
- ④ 循環型地域活動推進事業

## 3. 目標(5年後)

- バイオマス目標利用量
- ① 未利用資源の林地残材及び間伐材:3240t/年
  - ② 食品加工廃棄物:7000t/年

## 4. 地域波及効果

- ① 臼杵市の農林水産業の「ほんまもん」ブランドの構築
- ② 水源涵養機能を有した森林の保全と雇用の創出(未利用材6,000m<sup>3</sup>の活用、新規雇用5名程度)
- ③ 地域循環型食・エネルギーの構築による普及啓発効果
- ④ 温室効果ガス削減効果(CO<sub>2</sub>削減量:2,058t)
- ⑤ 地域産業振興・雇用創出

## 5. 実施体制

- ・協働まちづくり推進局が責任者となり部門横断的に事業を推進
- ・バイオマス産業都市構想推進協議会を設立し、連携して事業を実施

## 6. その他

ほんまもんの里みんなでつくる臼杵市食と農業基本計画(H22)、臼杵水源の森基金条例(S61)、臼杵市地球温暖化対策実行計画(H24)、第二次臼杵市総合計画(H26)

# 臼杵市 バイオマス産業都市構想の概要

大分県臼杵市 人口 約 3.9万人、面積 約 291km<sup>2</sup>

## 構想の概要

「ほんまもん農産物」を中心とした有機農業、水源涵養機能を高めるための持続的な林業、臼杵湾で獲れる「海のほんまもん」漁業を軸に、そこに循環する「水資源」を豊かにするために、家庭・製造業と連携した形で地域内での循環型社会の構築を目指す。

